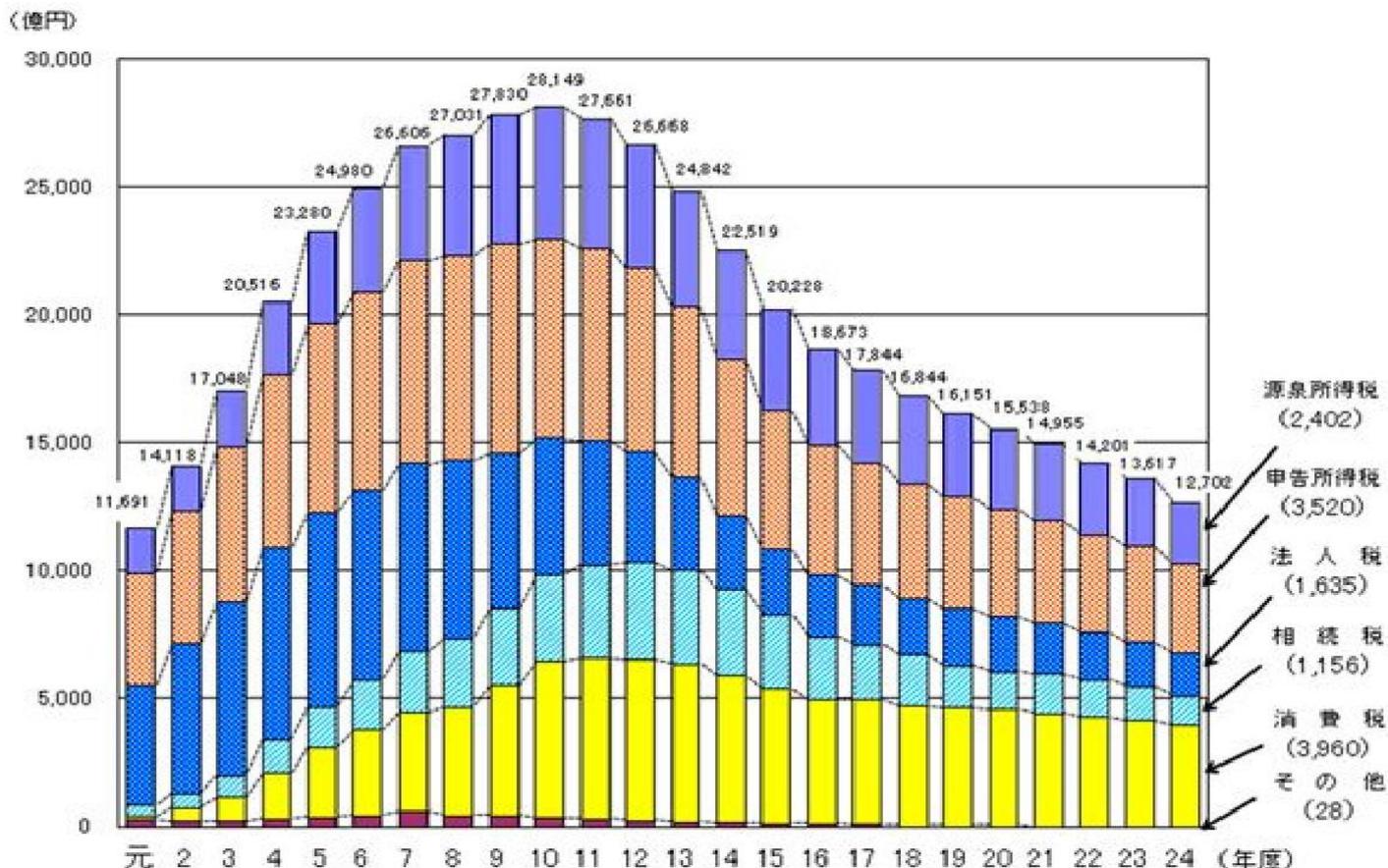


平成24年度租税滞納状況について

今年3月末時点での法人税や消費税など国税の滞納残高が、前年度に比べ6.7%減の1兆2702億円となり、1999年度以降14年連続で減少したことが、国税庁がこのほど発表した2012年度租税滞納状況で明らかになった。

1. 滞納整理中のものの額の推移(全国)

税目別では消費税が31%と最も多く、次いで申告所得税27%、源泉所得税19%となっています。



2. 広島国税局管内の状況

全国の滞納整理中のものの額(1兆2,702億円)に対して、広島国税局管内の滞納整理中のものの額(272億円)は、2.13%と非常に少なくなっています。反対に東京国税局管内は、7,035億円で55.38%と半分以上を占めています。

(単位：百万円)

	A 平成23年度滞納整理中のものの額 (前期繰越額)	B 新規発生滞納額	C 整理済額	D (A+B-C) 平成24年度滞納整理中のものの額 (次期繰越額)
全税目	(94.0%) 29,434	(90.4%) 22,687	(92.6%) 24,990	(92.2%) 27,131

参照 URL 全国：http://www.nta.go.jp/kohyo/press/press/2013/sozei_taino/index.htm

広島局：http://www.nta.go.jp/hiroshima/kohyo/press/h25/sozei_taino/sozei_taino.pdf